

□議員名：大井淳一郎

1 都市公園等に設置されているトイレの整備について

論点	都市公園等に何か所トイレが設置されているか。
回答	都市計画課で所管している都市公園内に70か所、農林水産課で所管している公園に4か所設置されている。

論点	若い人や女性が気にかけるトイレの形態は何か。
回答	清潔であることを一番気にされることから、くみ取式トイレは敬遠され、水洗トイレを好まれるのではないかと考える。

論点	都市公園のトイレの洋式化率はどれくらいか。
回答	約29%である。

論点	時期により観光客が多い公園について把握しているか。
回答	江汐公園や竜王山公園など大規模な公園については、観光客をはじめ多くの方に利用してもらっている。

論点	トイレの整備について今後進めていく考えはあるのか。
回答	都市公園内にあるくみ取式トイレについては、公共下水道への接続や合併浄化槽による水洗化を検討したことはある。今後も、利用者の多い公園については、水洗化を検討していきたい。

2 中学生市議会が出された意見・提言について

論点	中学生市議会が出された意見や提言は、どのように取り扱われているのか。
回答	担当課を中心に共有し、一つ一つの提案をしっかり受け止めて、精査、検討を行い、予算に反映できるように努めている。市としても、若い世代の意見を事業化につなげていくプロセスを大切にして、スマイルシティ山陽小野田の実現に向けて取組を進めていきたい。

論点	これまで実現した事業は何か。
回答	実際に実現化した事業として、ゴルフPR事業や厚陽小・中学校へ

	の小規模特認校制度の導入などがある。その他にも、通学路や公園の整備など、既存の事業の中で対応が可能なものについては、できる限り意見の反映に努めている。
--	---

論点	中学生市議会をさらに充実させるために、学校内で取り組んでいることはあるか。
回答	質問を考える際に、生徒会執行部が中心となって、自分たちが調べたり、地域学校協働活動等を通じて得た意見を集約したりしている。学校によっては、生徒総会の議題の一つとして、全校生徒が一堂に会して、中学生市議会の質問について話し合っている。

3 太陽光パネル設置に対する市の方針について

論点	太陽光パネルのメリットとデメリットをどのように捉えているか。
回答	メリットとして、地球温暖化防止につながることや災害時の電源に有用であることが挙げられる。一方、デメリットとして、景観、生態系や居住環境等への懸念、今後想定されるパネルの大量廃棄への対策が挙げられる。

論点	太陽光パネル設置に関するトラブルに対して、市はどのように対応しているのか。
回答	太陽光パネルの維持管理についての責任は設置事業者にあるので、基本的には当事者間の話し合いによって問題解決につながるように対応している。ただ、トラブルの原因が法令等の違反による場合は、市として厳正に対処することになる。

論点	県内でも太陽光パネル設置の事前届出などに関する条例や指導要綱を定めている自治体がある。本市も何らかの方針を示すべきではないか。
回答	条例を作るには制度設計上の難しさがある。この2月に国で「説明会及び事前周知措置実施ガイドライン」を定めたので、このガイドラインに基づいて、行政のできる範囲で対応する。条例や指導要綱制定の動きについては注視していきたい。